

ナガマツ4強逃す



女子ダブルス準々決勝で韓国ペアに敗れた永原、松本組＝武蔵野の森総合スポーツプラザ

韓国ペアに競り負け

東京五輪第7日の29日、バドミントン女子ダブルス準々決勝で永原和可那、松本麻佑組(北都銀行)は金昭映、孔熙容組(韓国)に1-2で敗れ、4強入りを逃した。第1ゲームは韓国ペアの強打に苦し



み、ミスも重なって14-21で落としたが、第2ゲームは21-14で取り返した。最終ゲームは互いに譲らず最後までもつれる展開となったが、26-28で奪われた。永原、松本組は2018年、19年の世界選手権を日本勢として初めて連覇。今年3月の全英オープンも制し、東京五輪での金メダルが期待されていた。



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2021年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

电子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報朝刊」秋田魁新報電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。